

全国300以上の拠点、数千台にも上るPC/サーバーに 「Kaspersky Endpoint Security for Business Select」を導入 ビジネスを支えるITシステムの運用に大きな安心



■ 会社概要

土地・建物・人の間の調和を目指す東建コーポレーションでは、“土地の有効活用および活性化”を念頭に、アパート、賃貸マンション、貸店舗などの企画・設計・施工から仲介・管理・経営代行に至る広範な事業を展開。商品ラインアップの拡充にとどまらず、建設事業の枠を超えた柔軟なビジネスにより、多様化する時代のニーズに応えている。

■ 業種

建設業

■ 課題

- ウイルス対策ソフトの安全・確実な運用の実現
- USBメモリなど外部媒体の利用に関わるシステム的な制限
- Windows、Mac、Linuxのマルチプラットフォーム環境におけるセキュリティの確保

■ 環境

Windows 7
Windows Server 2008
Windows Server 2012
Mac OS X
Linux Server

「土地活用に関わる仕事を通じて、地域社会の明日に貢献していくこと」をテーマに総合建設企業として成長を続ける東建コーポレーション。1974年の創業以来、リース建築を通じた“土地の有効活用および活性化”の推進を目指し、アパート、賃貸マンション、貸店舗などの企画・設計・施工から仲介・管理・経営代行に至る広範な事業を展開してきた。

東建コーポレーションは、ITを事業戦略上の重要な武器と位置付け、積極的な取り組みを行っていることでも知られる。具体的には、ウェブを活用した賃貸物件検索サービス「ホームメイト」、生活施設検索サービス「ホームメイト・リサーチ」をはじめ、営業から設計積算、建築管理、仲介管理に至るすべての業務を一貫してサポートする「東建ITマネジメント・システム」を独自に構築するなど、高度な情報システムの活用を推進しているのだ。

それゆえ、東建コーポレーションでは情報セキュリティを最重要テーマの1つとして捉え、本社や各支店、工場などのサーバーやクライアントPCにウイルス対策ソフトを導入。顧客情報や設計情報、物件情報など自社の機密情報をウイルスや情報漏洩から保護する仕組みをいち早く構築してきた。

頻発する不具合に直面し、ウイルス対策ソフトのリプレースを決断

東建コーポレーションでは、これまで使用してきたウイルス対策ソフトがサポート切れを迎えるため、最新バージョンへアップデートしたところ、クライアント端末からサーバーに至るまでさまざまな不具合が発生したという。

「当社では、不具合の原因について提供ベンダーへ調査を依頼したのですが、『ほかのソフトが悪影響を及ぼしているのではないかと』といった回答に終始。以前から問い合わせへの対応スピードや、サポート面などで不満を感じていたという経緯もあり、ウイルス対策ソフトのリニューアルを検討することにしました」と情報システム部 技術インフラ課 係長 小島 誠氏は振り返る。

その後、東建コーポレーションでは、インターネット上の情報などを中心とした調査により複数のウイルス対策製品を候補として選出。「手厚いサポートが期待でき、安心して利用できること」「現在活用している製品と同等のコストであること」という2つの要件で比較検討を行った。その結果、最有力候補として浮上したのが「Kaspersky Endpoint Security for Business Select」だった。「カスペルスキー製品については、特にコンシューマ領域で広く利用されており、検知率が秀でているというイメージがありました」と小島氏は言う。

迅速かつ柔軟な手厚いサポート及び既存製品と同等コストで 豊富な機能が導入の決め手

早速、東建コーポレーションでは情報システム部内のPC/サーバー環境にKaspersky Endpoint Security for Business Selectを組み入れ、テスト・検証を実施。その結果、同製品の本格導入を決定した。「検証作業の途上で、いくつかの不具合も発生しましたが、その都度、窓口となってくれた販売代理店と製品の提供元であるカスペルスキーが綿密に連携し、速やかに問題を解消してくれました。そうした対応からも、導入後のサポート面についての不安を感じることは一切ありませんでした」と同プロジェクトをサポートしたアイネットソリューション本部 第2ソリューション事業部 第2システム部 課長代理 糟谷 良成氏は語る。また、既存製品と同等のコストでより豊富な機能を備えていた点も採用の重要な決め手になった。

[Kaspersky Endpoint Security for Business Select]

■ カスペルスキーのソリューション

Kaspersky Endpoint Security for Business Select

- Kaspersky Endpoint Security for Windows
- Kaspersky Anti-Virus for Windows Server Enterprise Edition
- Kaspersky Security Center
- Kaspersky Endpoint Security for Mac
- Kaspersky Anti-Virus for Linux File Server

■ 結果

- 経営層を含む全社的なセキュリティ意識の向上
- USBメモリなどの外部記憶媒体に関わるガバナンスを強化
- ウイルス対策ソフトの運用に関わる問題発生時の迅速な対応



東建コーポレーション株式会社
情報システム部 技術インフラ課
係長
小島 誠氏

ITを事業戦略上の武器と位置付ける当社にとって、情報セキュリティ対策はビジネスの大切な要となります。

今回の「Kaspersky Endpoint Security for Business Select」の導入は、ウイルスや情報漏洩に向けた対策強化はもちろん、従業員のセキュリティ意識向上にも大きく貢献しました。

「WindowsベースのクライアントPCやサーバーに加え、一部の業務で利用しているMacやLinuxサーバーもサポートしていました。さらに、仮想/物理サーバーの双方への環境対応や、USBメモリをはじめとするデバイス制御機能が提供されているなど、その価格性能比の高さには驚きました」と小島氏は述べる。

特にデバイス制御に関しては、セキュリティポリシーとしてUSBメモリなどの利用を制限していたが、あくまでも社員の対応に依存していたため、体系的な統制が不可欠だと考えていたという。

短期間で数千台規模のウイルス対策ソフトの入替えを実現。 外部記憶媒体を系統的に制御し、情報漏洩防止を強化

正式採用決定後、東建コーポレーションでは、まずWindows PC /サーバー向けに数千台分のライセンスを購入し、本社をはじめ支店、工場などあわせて300以上の拠点に対する導入作業に着手。その作業は、既存のウイルス対策ソフトのサポート期限が迫っていたということもあり、まさに急ピッチで進められた。「導入対象となるクライアントPCの数は実に膨大でしたが、管理ツール「Kaspersky Security Center」を用いてリモートから一元的に各拠点のPCへインストールが行え、作業は非常にスムーズに進捗。当初のスケジュール通りに展開を完了することができ、「Kaspersky Security Center」のリッチなインターフェイスとマニュアルを見なくても直感的に動かせる点を高く評価しました」とアイネットソリューション本部第2ソリューション事業部 第2システム部 市古圭司氏は語る。

Kaspersky Endpoint Security for Business Selectの導入により、東建コーポレーションの情報セキュリティ対策はさまざまな観点から強化された。まず、大きな懸念点であったUSBメモリなど外部記憶媒体を系統的に制御できるようになったことで、情報漏洩やウイルス感染について万全の備えが整った。

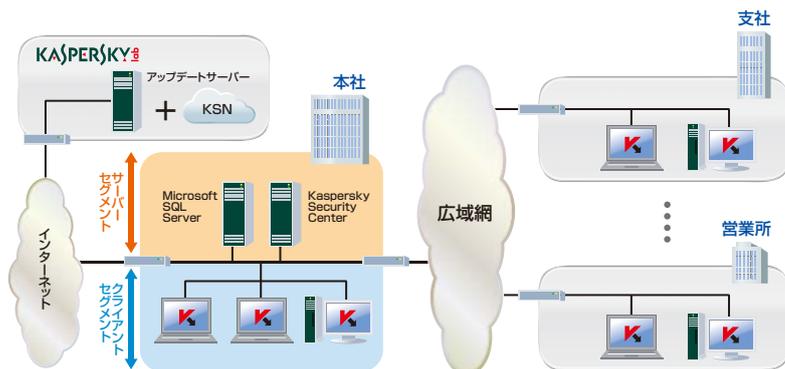
また、Kaspersky Endpoint Security for Business Selectの導入・運用に伴う作業を契機として、経営層も含めた全社的な規模で、セキュリティに対する意識が大きく向上したという。

「そのほか、仮に何らかの問題が発生したとしても、いつでも迅速かつ手厚いサポートを提供してもらえるという安心感は、数多くのサーバーやPCを管理する我々にとって何より重要な成果だといえます」と糟谷氏は強調する。

東建コーポレーションでは、Kaspersky Endpoint Security for Business Selectの活用を軸に、なお一層のセキュリティ対策の強化に取り組んでいく構えだ。具体的には、WindowsのPC /サーバーだけではなく、MacやLinuxサーバーにもその適用範囲を拡大している。

「さらに当社では、iPadなどのタブレット端末を業務で活用していくことも検討しています。そうした新たな展開も含め、カスペルスキーには今後も当社のセキュリティ対策を強力に支援してほしいですね」と最後に小島氏は語った。

ネットワーク構成図



〈お問い合わせ先〉

株式会社カスペルスキー

〒101-0021

東京都千代田区外神田3-12-8 住友不動産秋葉原ビル7F

<http://www.kaspersky.co.jp>jp-sales@kaspersky.com

Kaspersky Endpoint Security for Windows、Kaspersky Security Centerは、Kaspersky Labの登録商標です。その他記載された会社名または製品名などは、各社の商標もしくは登録商標です。記載された内容は、改良のため予告なく変更される場合があります。
©2015 Kaspersky Labs Japan